

住友理工株式会社

グローバル本社
〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0200

小牧本社
〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
tel 0568-77-2121

<https://www.sumitomoriko.co.jp/>



2026年7月発行



素材の力を引き出し、 社会の快適をモノづくりで支える リーディングカンパニーとして進化し続けます。

住友理工は、住友事業精神を企業活動の礎に、社会や市場の変化と柔軟に向き合いながら、事業の深化と拡張を続けてきました。現在、私たちは気候変動への対応や価値観・働き方の多様化、さらにはAIの進展など、かつてない速度で環境が変化する転換期に立っています。こうした変化を成長の機会と捉え、社内外の多様なパートナーとの共創を通じて、新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現に向けた挑戦を加速させています。

当社は2026年より、住友電気工業株式会社の完全子会社として、住友電工グループの総合力とガバナンスのもと、より一体感のある経営体制をスタートしました。今後は、技術開発・事業展開・人材育成等の面で連携を一層強化するとともに、グループ内外のパートナーとの共創をさらに進展させ、中長期的な視点で価値創造に取り組める仕組みを整えていきます。これにより、今まで以上にスピード感のある意思決定と、より幅広い領域での価値提供が可能となります。

また、経営ビジョン「2029年 住友理工グループVision」のもと「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」の実現を目指し、「カーボンニュートラルの達成」や「資源循環型社会の構築」等の重要な社会課題に、素材の力を引き出すモノづくりの技術で応えます。その中核となるのが、創業以来磨きあげてきた「高分子材料技術」と「総合評価技術」です。これらの強みを軸に、自動車（モビリティ）やインフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアといった幅広い分野で人・社会・地球に安心・快適な価値を提供していきます。

住友グループの一員としての信頼と責任を胸に、グローバルな視野と日本のモノづくりに根ざした品質への姿勢を両立させながら、今後もお客様と社会に貢献する製品とサービスを世界へ届けていきます。そして、ともに価値創造に取り組み、挑戦を続け未来を切り拓いてくださる皆さまとお会いできることを、心より楽しみにしております。



住友理工株式会社
代表取締役執行役員社長
清水 和志

2029年住友理工グループ Vision

Global Excellent Manufacturing Company

社会的価値の創造

企業価値

公益価値

【存在意義】
素材の力を引き出し
社会の快適をモノづくりで支える

2029V
理工のチカラを起点に
社会課題の解決に向けて ソリューションを提供し続ける
リーディングカンパニー

柔軟かつ
強固な
組織づくり
持続可能な
社会に向けた
価値づくり
未来を開拓する
人・仲間づくり

総合評価技術 高分子材料技術

住友理工グループ経営理念・行動憲章

住友事業精神

コアコンピタンス

POINT 1

高分子材料技術

多様な“機能”を生み出す。

「合成」「改質」「配合」という複合的な技術を駆使し、高機能な製品の創出を可能にする高分子材料技術。住友理工では創業以来、高分子材料技術を深化させ、多様な材料をカスタマイズする開発力を蓄積し、お客様のニーズに応えています。

高分子材料技術を構成する要素

合成	改質	配合	配合
分子設計 ゴム・樹脂や添加剤の分子構造、立体構造を設計	表面改質 添加剤の表面を化学処理しゴム・樹脂との結合性を向上	配合設計 ゴム・樹脂と添加剤の最適な配合割合を特定	分散制御 ゴム・樹脂や添加剤の分散（混ぜ合わせ）を制御

POINT 2

総合評価技術

ミクロからマクロまでの評価で“品質”を高める。

材料開発時におけるナノスケールや分子レベルまでの分析・解析から、製品開発時、実際の製品に組み込んだの性能評価までを自社で一貫して行う住友理工の総合評価技術。この技術によりお客様のニーズを先読みし、一歩先のソリューションを提案します。

製品出荷までの各ステージでの評価

分析・観察技術	材料特性評価	製品評価	実機評価
分子構造など、材料の内部構造を分析	力学特性や導電率など材料の物性を評価	振動減衰性能や耐久性など、製品の性能を評価	当社製品を最終製品に組み付けて性能を評価

相互連携

住友事業精神

営業の要旨

※住友合資会社社則
(昭和3年制定)より

「住友の事業精神」は、住友家初代の住友政友が商売上の心得を簡潔に説いた「文殊院旨意書」を基に、住友の先人たちが400年に亘り磨き続けてきたものです。その要諦は「営業の要旨」として、現在も住友各社の経営指針として引き継がれています。

〔第一条〕 我が住友の営業は、信用を重んじ確實を旨とし、以てその鞏固隆盛を期すべし

〔第二条〕 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、軽進すべからず

●萬事入精（ばんじにつせい）

文殊院旨意書の前文、「商事は言うに及ばず候へ共、萬事精に入れられるべく候」に由来する言葉：まず一人の人間として、何事に対しても誠心誠意を尽くす人であれ。

●信用確實（しんようかくじつ）

営業の要旨 第一条：
住友の事業は、何よりも信用・信頼を大切にすることを基本にすべき。

●不趨浮利（ふすうふり）

営業の要旨 第二条：
社会の変化に迅速・的確に対応し利潤を追求すべきであり、既存の事業に安住することなく、常に事業の興廃を図る積極進取の精神が重要である。一方で、「浮利」すなわち一時的な目先の利益や道義にもとる不当な利益を追求してはいけない。

住友理工グループ 経営理念

住友事業精神を踏まえ、住友理工グループは、

1. 技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します。
2. 安全を経営の最重要課題と位置付け、人・社会の安全確保に努めます。
3. 地球環境に配慮し、よりよい社会環境づくりに貢献します。
4. 高い企業倫理と道法の精神で、世界各国の地域社会から信用・信頼される企業を目指します。
5. 従業員の多様性、人格、個性を尊重し、活力溢れる企業風土を醸成します。

自然と都市と人の空間が繋がるグリーンで快適な社会

気候変動や価値の多様化、グローバル化など、さまざまな社会的課題に対して、
住友理工では、既存事業領域の深化と融合分野の事業探索を加速させることで、
自然と都市と人の空間が繋がり、全ての人が互いを尊敬し、活躍できる社会の実現を目指します。

快適

価値観が多様化する中で、人々の
安心・安全を支え、さらなる快適を
実現する製品開発を続けます



グリーン

脱炭素、循環型社会、新エネルギー
をはじめとする、グリーンな社会の
実現にモノづくりで貢献します



リコウの技術で、
彩るミライ。



ミライを彩る、リコウの研究・開発



自動車用品

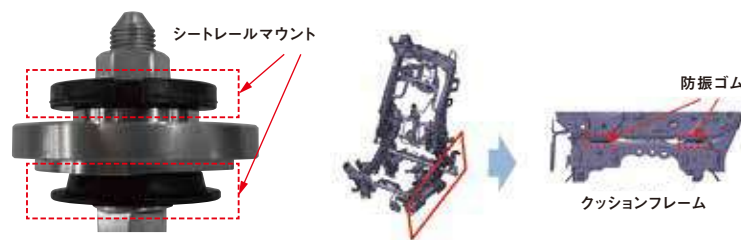
車内の快適性を向上させる防振ゴムや、EV*の性能を支える革新的なバッテリー冷却システム、快適な車内空間を演出する光透過表皮など、次世代モビリティの進化に、リコウの研究・開発が貢献しています。
※Electric Vehicle(電気自動車)



トヨタ自動車株式会社：アルファード

シートレールマウント(シート用防振ゴム)

トヨタ自動車株式会社が2023年に発売した新型「アルファード」と「ヴェルファイア」に搭載されたシートレールマウント。シートの振動を1/3に低減、さらに従来品に比べ約3kgの軽量化を実現し、快適な乗り心地と燃費向上に寄与しています。また、車両性能・快適性向上に貢献したことが評価され、トヨタ自動車株式会社とトヨタ車体株式会社より、技術賞を受賞しました。



BEV冷却配管用樹脂チューブ

BEV*のバッテリーやモーターを冷却するための冷却水流路を形成する重要な役割を果たします。高分子材料技術を用い、BEVの熱マネジメントに貢献する製品です。新規締結構造の採用により、部品点数と圧損の低減も可能にしました。



※Battery Electric Vehicle(電気自動車)

光透過内装品

独自開発の光透過表皮。通常は上質なインテリアとして、使用時はバックライトと連動し表皮にイルミネーションが浮かび上がります。必要な時だけスイッチが現れるHMI*デバイスとしても活用可能です。



※Human Machine Interface(ヒューマン・マシーン・インターフェイス)

バッテリー冷却プレート：クールフィットプレート

バッテリーの底面を効率的に冷却し、温度の均一化を実現するプレート。特徴的な並列流路内の突起により、流体に渦を発生させて境界層を攪拌し、冷却効率を向上させ、バッテリー温度の均一化を図ります。



ローア(下側)プレート

両面ガスケット付きセパレータ

水素・酸素・冷却水の漏れを防ぐシール部材で、材料にEPDM*1を採用し、FCEV*2の発電性能を支える重要な部品です。また表裏同時成形技術を採用し、1枚のセパレータにシール部材を集約することで、セル製造プロセスの簡略化に貢献します。



※1 Ethylene Propylene Diene Monomer(エチレンプロピレンジエンゴム)
※2 Fuel Cell Electric Vehicle(燃料電池自動車)

一般産業用品

都市の安全を守る制振システムから、バイオ技術を切り拓く培養デバイスまで、暮らしを支えるインフラや最先端の研究分野に、確かな進化をもたらしています。リコウの研究と開発が、見えないところで社会の未来を創造し続けています。

ビル用制振システム TRCダンパー

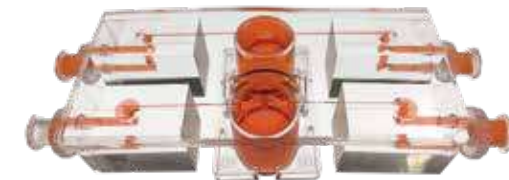
オフィスビルやマンションなど中高層ビルの地震対策に有効な、特殊粘弾性ゴムを使用した制振システム。地震エネルギーを吸収し、熱エネルギーに変換することで、建物の揺れを低減します。また風による横揺れ低減にも効果を発揮。薄くコンパクトで、ビル設計上の無駄を削減。建物の安全性と快適性を両立させ、未来の都市空間を支えます。



「中日ビル」(名古屋市中区)など、ビルの安全を支えます

生体模倣システム(Microphysiological System:MPS)

生体内の臓器機能や疾患状態を模倣した細胞培養デバイス。当社コア技術である流体制御技術をベースに、他社と共同で多臓器連結培養が可能なMPSを開発。医薬品・化粧品 of 安全性評価ツールとしてや、脳と腸の相互作用研究などさまざまな用途への応用が期待できます。



細胞培養バッグ

独自の高ガス透過性素材と精密成型技術を応用し、他社と共同で細胞農業*向けの培養バッグを開発。高密度・高効率な培養が生産性を向上させ、シンプルな構成によって省スペース化と作業性改善を実現しました。

※細胞を培養して、食料や素材などさまざまな資源を生産する新たなバイオ技術



200mL

2,000mL

未来を切り拓くイノベーションの軌跡

2020年

窓用高透明遮熱・断熱フィルム
リフレッシュイン



令和2年度愛知発明表彰
発明奨励賞

2022年

薄膜高断熱材
ファインシュライト



令和4年度愛知発明表彰
愛知発明賞

2023年

柔軟圧電体動センサー
モニライフ



令和5年度愛知発明表彰
発明奨励賞

令和5年度中部地方発明表彰
文部科学大臣賞
※最高賞

2024年

放熱する吸音材
MIF



令和6年度愛知発明表彰
愛知発明大賞
※最高賞

令和6年度中部地方発明表彰
愛知県知事賞

2026年

水現像フレキシ印刷版
AquaGreen



令和8年度愛知発明表彰
愛知発明賞

Products

住友理工グループの製品

創業以来培ってきたコアコンピタンス「高分子材料技術」をベースに、先進的なモノづくりを行ってきた住友理工。
常にあたらしい価値を創造し続け、「自動車(モビリティ)」「インフラ・住環境」「エレクトロニクス」「ヘルスケア」の4つのフィールドで安全・安心・快適で環境にやさしい社会づくりに貢献しています。



[自動車(モビリティ)]

最も身近な移動手段である自動車。ドライバーと同乗者の「安全」「安心」はもちろん、さらなる「快適」の提供を目指すのが住友理工の自動車用部品です。路面やエンジンからの振動を抑制・制御する防振ゴムは世界トップシェア*を誇ります。国内トップシェア*のホースのほか、エンジンカバーやシートなどの制遮音品・内装品など幅広いラインアップを揃えています。世界5極での開発・供給体制を構築し、高品質な製品をいち早く全世界に供給します。※当社推定

automotive (mobility)

世界中の自動車の安全・安心・快適な走りを支える 住友理工の防振ゴム開発技術。



トヨタ自動車株式会社：トヨペット・クラウン

Topics - 1

住友理工が防振ゴムの開発に乗り出したのは、1953年のこと。1929年の創業以来、ゴムベルトを製造する会社として、コンベヤーベルトや糸ゴム、産業用ゴムホースなどを製造していましたが、車社会の到来を見据え、当時の社長が「ゴムの弾性を、ばねとして有効に生かした製品を開発したい」という方針を打ち出したのが、防振ゴム分野への参入の始まりでした。最初に開発に着手したのはエンジンサポートという、車体に固定し、エンジンを支える部品。開発初期の段階では、「振動を抑えるゴムをどうやって金属に接着させるか」「劣化を抑えて

耐久性を高めるためにはどうしたらいいか」など、すべてが試行錯誤の連続でした。アメリカの大手化学メーカーが、ゴムの劣化を防ぐ素材を開発したことを知ると、いち早くその技術を取り入れるなど、試作と改良を重ねていきました。その甲斐あって、トヨタ自動車株式会社から「耐久性に優れ、品質にばらつきが少ない」という高い評価を受け、純国産設計で開発された高級乗用車として1955年に発売されたトヨペット・クラウンに装着されることになりました。

第1号製品がトヨタ車に採用されたこともあって、その後、他社からの受注が相次ぎ、防振ゴム事業の裾野を広げる端緒となりました。以来、60年以上の長きにわたって、住友理工の主力製品として当社を、そして、国内外メーカーの自動車の安全で快適な走りを支え続けています。



エンジンサポート

住友理工の製品が トヨタの新型BEV「bZ4X」に採用

住友理工は、2050年のカーボンニュートラル達成に向け、HEV(ハイブリッド車)／PHEV(プラグインハイブリッド車)／BEV(電気自動車)／FCEV(燃料電池自動車)と全方位で電動車対応を推進しています。

2022年、トヨタ自動車株式会社の新型BEV「bZ4X」に、防振ゴム、ホース、制遮音品の3つの製品群が採用されました。防振ゴムでは、電動ユニット「eAxle(イーアクスル)」向けの「eAxleマウント」を開発し、万一の衝突時の安全性を考慮しつつ軽量化を実現しました。またホースは、高分子材料技術を活用した「電気系統向け冷却配管」が採用され、各コンポーネントの性能維持、最大効率化を図る冷却回路として貢献しています。さらに、制遮音品「eAxleカバー」は、長年培った制遮音技術と、ウレタン素材特有の形状自由度を生かし設計技術に応用。BEVはエンジン由来の振動・騒音はありませんが、BEV特有で発生する高周波音対策に効果を発揮し、車室空間の快適性向上に役立っています。

今後も、自動車市場の変化、EVの更なる進化やニーズに柔軟に対応し、よりクリーンで持続可能な社会と、快適なモビリティライフの実現に寄与していきます。



トヨタ自動車株式会社：bZ4X



eAxleマウント



eAxleカバー



電気系統向け冷却配管／コネクター(手前左)

Topics - 2

防振ゴム

住友理工の防振ゴム製品は、高分子材料技術を生かした材料開発により、柔軟性と減衰性、そして高い信頼性を兼ね備え、エンジンや路面からの振動を効率よく吸収することで、快適な車内空間づくりに貢献しています。



耐熱ゴム製品

- ① エンジンマウント
- ② エグゾーストパイプサポート
- ① 液体封入式エンジンマウント



高分子材料技術から生み出された耐熱ゴムにより、従来比2倍の耐熱性を確保。長期信頼性に貢献します。



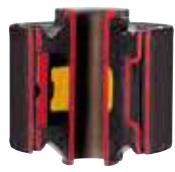
液体が封入され適切にチューニングされたエンジンマウントは、エンジンからの振動伝達を低減し、車の快適性と操縦安定性の両立に貢献します。

シャシー系部品

- ③ サスペンションブッシュ
- ④ メンバーマウント
- ⑤ ストラットマウント
- ③ 液体封入式サスペンションブッシュ



従来比2倍の耐久性を有するゴム材料の開発により、信頼性の向上や製品の小型化を実現します。



ゴムブッシュの内部に液体が封入され、大きな減衰力と最適化されたばね定数により、乗り心地と操縦安定性の両立を実現します。

軽量化部品

- ① 樹脂ブラケットエンジンマウント
- ① 樹脂ブラケットトルクロッド
- ⑤ ウレタン製バウンドストッパー
- ⑤ 樹脂製ダストカバー



ガラス繊維入り樹脂の材料特性を生かして最適設計された製品は、高強度と軽量化を実現し、自動車の燃費向上に貢献します。



素材の特徴を引き出す材料選定と形状設計により、性能と信頼性の向上を実現します。軽量化、リサイクル性にも優れ、環境にも配慮した製品です。

アクティブ製品

- ① 電気式アクティブ・コントロール・マウント(E-ACM)
- ⑥ バイブレーション・キャンセレーション・システム(VCS)



環境対応エンジンにも適応する高性能デバイス。ばね定数と位相をリアルタイムに変化させることで、さまざまな走行状態において優れた静粛性を提供します。

制振部品

- ⑦ ダイナミックダンパー



固有振動数をコントロールしたデバイスを車両の振動部に装着することでその振動を抑制します。車の快適性と静粛性を高めます。

制遮音品

自動車にはエンジンをはじめ、多くの騒音源があります。それらを遮断し、車内を静かに保つのが住友理工の制遮音品。エンジンカバーには耐熱性と吸遮音性を両立した当社独自のウレタン材料を使用し、高温のエンジン部でも高い防音性能を実現しました。

内装品

ユーザーの身体に直接触れる自動車の内装品においては、安全面を考慮した機能性はもちろん、五感を満足させる快適性の確保も重要な課題です。内装品分野では衝撃吸収性に優れ、かつ心地よい肌触りのヘッドレストやアームレストを提供しています。

① エンジンカバー



エンジン上部に取り付けて、エンジンからの騒音を低減します。耐熱性と難燃性に優れた材料の使用により、高温部位での使用も可能にしています。また、カバーのデザイン性に配慮するなど、エンジンルーム内の見栄えの向上にも貢献しています。

② 定在波スパーサー



エンジン本体と周辺機器(補器類)との隙間で発生する騒音(定在波)を低減するために、空間を埋める製品です。モールド成形技術により、複雑な形状にもフィットさせることができます。

③ ヘッドレスト

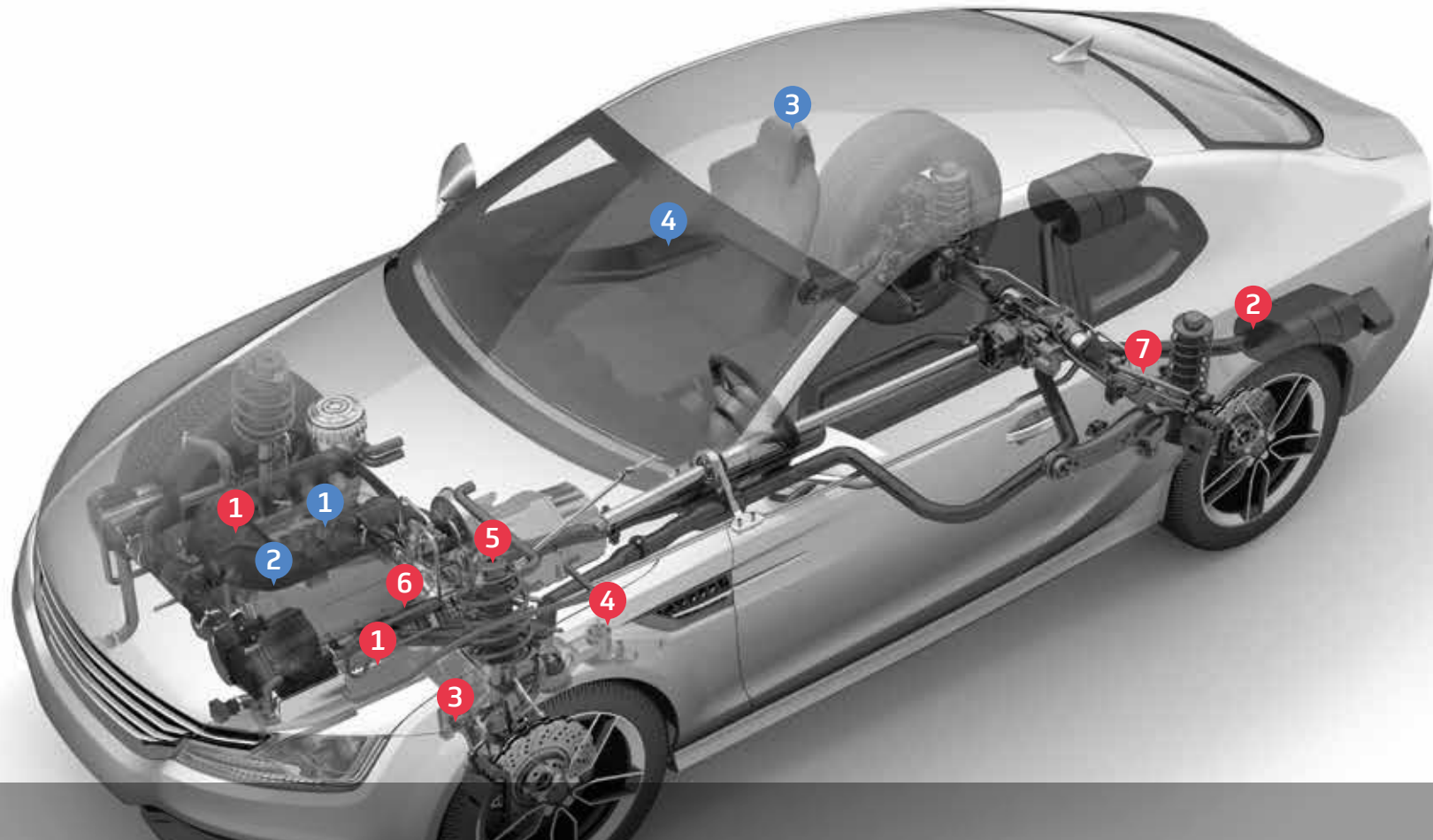


車の安全性と快適性に貢献する内装品です。独自のウレタン材料と、裁断・縫製から表皮一体発泡までの一貫生産で、安定した高品質な製品を提供します。

④ アームレスト



左右のドア中央部に設置され、そこに腕を乗せることによりくつろぎを提供しています。意匠性に優れた一体成形技術などを採用し、「乗る人にやさしい」製品を追求しています。



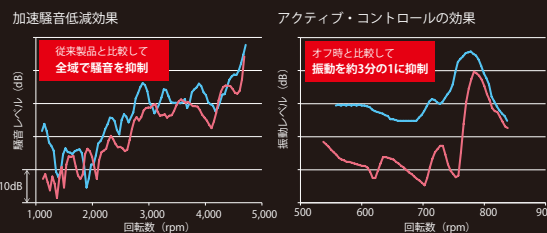
自動車とともに進化した防振ゴム。安全・快適な走り、環境への貢献のために。

エンジンマウントやサスペンションのシャシー系部品をはじめ、1台の自動車には多いものでは60〜70種類の防振ゴムが使用されています。自動車の進化に伴い、防振ゴムも進化しています。その最たるものの一つが電気式アクティブ・コントロール・マウント(E-ACM)。エンジンの揺れの波形をコンピューターで解析し、その逆相の波形を電磁的に与えることで振動を打ち消すものです。また、将来的にはさらなる環境対応型の製品が求められています。軽量化による燃費向上への貢献などもその一つ。安全で快適な走行と、環境への貢献の両立に向け、たゆみない研究開発を続けています。



飛躍的に高性能な防振ゴムを開発

自動車の加速時の騒音について新製品と従来製品とで比較したグラフ(左図)と、アクティブ・コントロールのオン／オフ時での振動抑制効果を比較したグラフ(右図)です。



放熱防音材 マグネティック・インダクション・フォーミング(MIF)

現在、自動車にはより多くのモーターが使われるようになっています。モーター特有のノイズを抑え、かつ熱的な弊害を起こさない素材へのニーズが高まる中、住友理工は「放熱」と「防音」を両立する放熱防音材「MIF」の開発に成功しました。住友理工が誇る配合技術を生かし、一般的な防音ウレタンの10〜50倍もの放熱性能を実現しました。将来的には、さまざまな家電製品など、より幅広いニーズへの応用が期待できる素材です。



※モーターは16V定電圧駆動。近接100mmで計測

ホース

自動車の車体内部に縦横に張り巡らされた配管。

住友理工の自動車用ホースは、ゴムや樹脂の材料配合技術を強みとしています。

耐熱性や振動衝撃吸収性、軽量性に優れ、

エンジン周辺から燃料タンクまわりまで、さまざまな部位に採用されています。

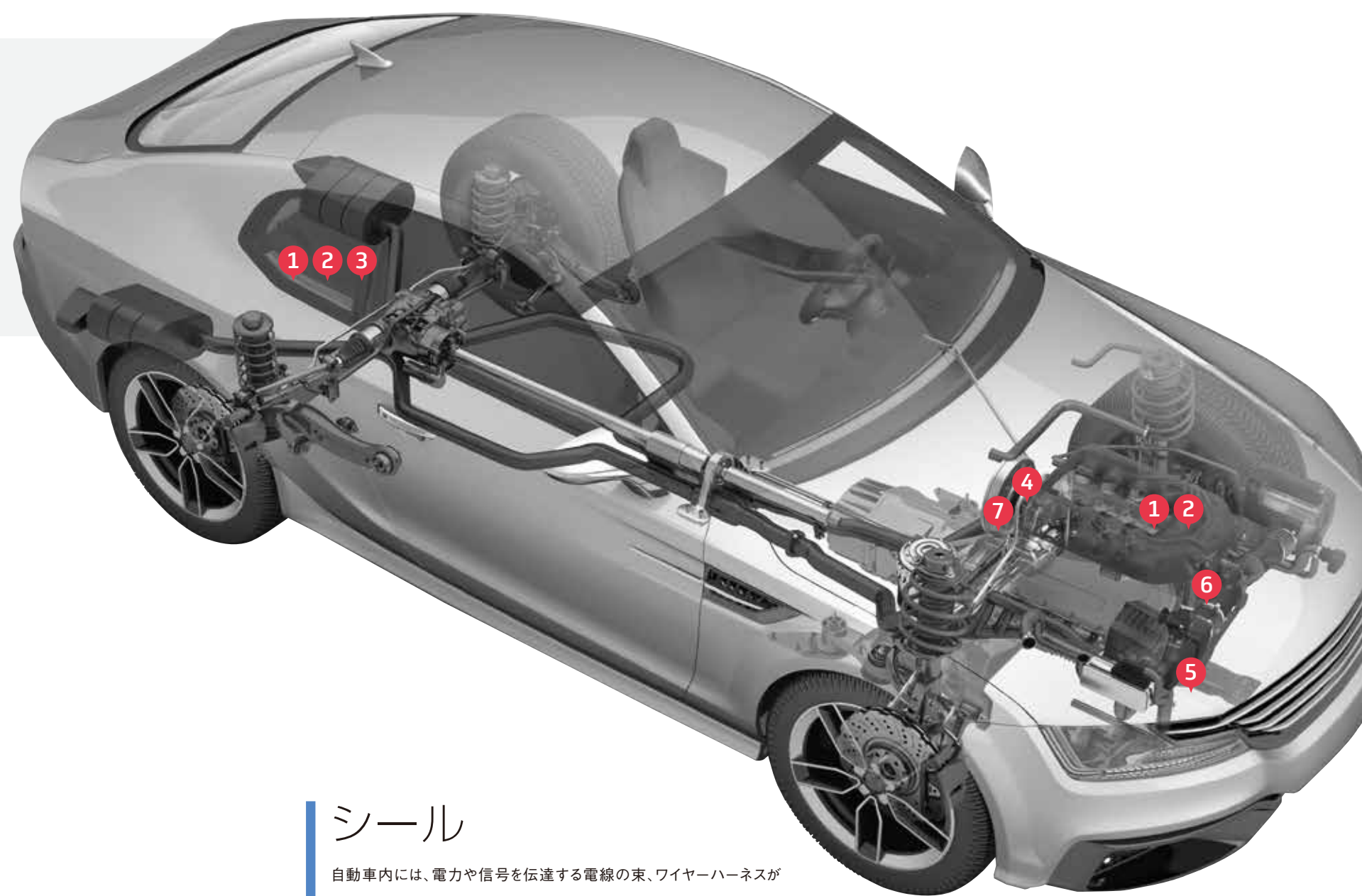
また自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えており、

これを大きなチャンスと捉え、電動化や環境規制に対応した新技術・新製品を創出し続けます。

世界シェア



※実績は当社推定



1 燃料系ゴムホース



主にエンジン、燃料タンク周辺に使用され、耐燃料に優れた材料と耐久性の高い構造が求められる製品です。柔軟性が必要な非常に厳しい環境で使用されています。

2 燃料系樹脂ホース



主にエンジン、燃料タンク周辺に使用される製品です。高分子材料を多層化した低透過対応樹脂ホースは、世界最高レベルのガソリン蒸散規制に対応します。

3 キャニスター



主にガソリンタンク周辺に配置され、ガソリン蒸気の吸着と放出を繰り返します。世界最高レベルのガソリン蒸散規制に対応しています。

4 エアー・コントロール系ホース



高分子材料技術により耐熱性に優れた材料を開発。超高温のターボチャージャーに付属する耐熱ターボエアホースなどを提供しています。

5 水系ホース



ラジエーターホースやヒーターホースなどの水系ホース。高分子材料技術を使い、耐熱性が非常に高い点が特徴です。

6 オイル系ホース



非常に厳しい熱環境下で使用されるため、高い耐熱性が求められる製品です。オートマチックトランスミッション性能を最大化し、車の燃費改善に貢献します。伝達オイルの温度を一定に保つ回路に使用されています。

7 エアコンホース



カーエアコンの冷媒循環回路に使用されているホース。柔軟性の高いホースの両端にアルミ金具を取り付ける高度なシール技術が生かされています。

水素ホース



密封することの難しい、小さな気体である水素を高压で搬送するホースです。燃料電池自動車(FCEV)に搭載されています。いかなる条件下でも水素を車外に漏出させない高い信頼性と耐久性が要求される製品です。

シール

自動車内には、電力や信号を伝達する電線の束、ワイヤーハーネスが

張り巡らされています。車室外にあるワイヤーハーネスには防水用シール材が

1台当たり500個以上使用されており、住友理工は精密ゴム成型技術と独自の品質保証システムにより安定供給を実現しています。

コネクタシール



ワイヤーハーネスをつなぐコネクタを防水するための製品です。精密金型設計技術と液状シリコーン成型技術でバリゼロ、ロスゼロ、インライン検査により全数保証を実現しています。

ワイヤーシール



コネクタ内において個々の電線を防水するための製品です。プレスにロボットを配置し材料供給から検査、梱包まで一貫して無人で行う独自システムで生産しています。

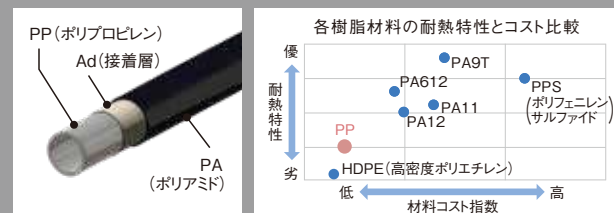
BEV冷却配管用樹脂チューブ

電動車の要求に応える、低コスト・軽量樹脂配管

電動車(BEV)の使用環境に適した低コスト材料PP※1を内層に採用し、外層は高強度PA※2材を配置した3層構造により、剛性・耐久性と低コスト化・軽量化を両立。また、蛇腹構造の採用により、狭小空間での配管レイアウトの自由度も向上させました。さらに、長尺化に伴う生産性低下やコスト増加といった課題には、端部にレーザー溶着構造を適用することで、高品質な締結構造と自動化生産を実現しました。

成形から検査までを一体化した自動化ラインにより、生産効率の向上と品質の安定化を実現するとともに、コスト低減と軽量化に大きく寄与しています。

※1 Polypropylene(ポリプロピレン) ※2 Polyamide(ポリアミド)



自動車の電動化がもたらす新たなニーズへの挑戦

自動車の電動化に伴い、バッテリーやモーターの熱マネジメントの重要性が高まる一方で、冷却回路の拡張による配管の長尺化は重量増加やコスト上昇といった新しい課題を生んでいます。こうした課題に対し、「材料・構造・製法」を最適化した低コスト・軽量な「BEV冷却配管用樹脂チューブ」を開発しました。電動車特有の使用環境に着目し、必要性能を見極めた材料選定と構造設計により、従来比でのコスト低減と軽量化を実現。さらに、自動化を前提とした製造プロセスの構築により、高い品質と生産性を確保しました。多様化・高度化する自動車の熱マネジメントニーズに応え、実用的なソリューションを提案し貢献しています。

自動車用ホース事業本部
技術統括部
先行技術開発部 EV冷却技術2課
課長

秋元 裕介





infrastructure

[インフラ]

建設機械や土木現場などで活躍する各種産業用ホース、地震の脅威から高速道路の高架や橋といったインフラ網を守る橋梁用ゴム支承など、住友理工の製品は産業の基盤づくりや公共交通の発展に寄与しています。新幹線をはじめとした鉄道車両に使用される防振ゴムは国内でトップのシェア*を確立し、海外でも数多く採用されています。国内では震災復興、海外では新興国を中心としたインフラの整備に貢献していきます。

※当社推定

日本が世界に誇る新幹線。その安全な走行を支え続けてきた住友理工。

鉄道車両用の防振ゴム開発に住友理工が参入した歴史は古く、0系新幹線の時代にまで遡ります。世界各国の高速鉄道の中でも、群を抜いた性能を誇る日本の新幹線。その台車に使用される防振ゴムの多くは住友理工の製品です。開発においては、安全性、快適性はもちろんのこと、環境性に対する配慮も重要なポイントです。さらに、耐久性を高めて製品のライフサイクルを延ばし、メンテナンスコストを削減する。それらを総合的に解決することが、私たちに課せられたミッションです。今後は、これまでに培ってきたノウハウを生かし、海外にもより広く展開していきます。



Topics



重機

当社独自のゴム配合・成型技術や金具加工・接合技術を駆使し、各種産業機械のニーズに応えた超耐久ホースを提供しています。当社高圧ホースは、ゴムとワイヤーからなる複層構造で、耐圧性と柔軟性を両立。さらに特殊配合ゴムを使用することで耐候性・高耐久性を備えています。

高圧ホース アセンブリ製品



建設機械やフォークリフトなどに使用され、柔軟性を生かしたコンパクト配管を実現。世界各国のインフラ整備や物流の発展に役立てられています。

高圧ホース・金具・プレス機



高圧ホース・金具・プレス機をそれぞれ単体で販売することにより、ニーズに合わせ、各現場で自由にカスタマイズしたホースに加工できます。スピーディで最適なソリューションの提供を通じて、高圧ホースの即納ニーズに対応します。

建築・都市土木

ビル建築や土木現場などで利用される搬送用ホース。生コンクリートや地下工事の排泥水を送る耐摩耗ホースや産業機械用の耐油ホースなど、当社の材料開発技術による特殊ゴム材料や構造設計技術を駆使した高耐久ホースをご用意しています。

搬送用ホース

ハイアロー



建設現場で生コンクリートを圧送するポンプ車の先端部に取り付けて使用されています。軽量かつ柔軟で作業性に優れ、また特殊なゴム配合と構造設計で耐摩耗性が向上し、長寿命化を実現しています。

エルスター

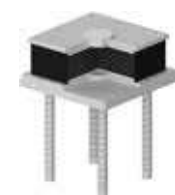


水や泥土、コンクリートの運搬などに使用され、大深度地下開発工事などで採用されています。長年にわたり、各種大規模工事での実績があり、都市開発に寄与しています。

橋梁

環境変化や災害から、高速道路の高架や橋などの安全を確保する橋梁用ゴム支承製品を開発しています。地震時の慣性力を分散・減衰させ、橋梁の耐震性能の向上に寄与する高性能型高減衰ゴム支承「HDReX」や超高減衰ゴム支承「HDR-S」、省スペースに設置可能なディスク型高面圧ゴム支承「DRB」などが、私たちの社会インフラを守ります。

高性能型高減衰ゴム支承「HDReX」



ポリマーの構造最適化、配合材の開発により、従来の高減衰ゴムより減衰性能をさらに向上させました。低温域での温度依存性の低減、低ハードニングを実現した高性能型の免震支承です。

ディスク型高面圧ゴム支承「DRB」



高硬度・高弾性な性質を持ち、耐オゾン性・耐寒性にも優れたウレタンゴムを使用して、高面圧化を実現したコンパクトゴム支承です。新設はもとより、既存橋梁の支承交換にも適しています。

橋梁用ゴム支承の施工事例 「備前♡日生大橋」(岡山県)



鉄道車両

長寿命と高耐久を要求されるインフラ分野にも対応する、住友理工のゴム材料。走行中の振動を吸収し、快適な乗り心地を実現する当社の鉄道車両用防振ゴムは、繰り返しの衝撃や過酷な環境にも耐え、国内のほか、アジア、北米、欧州など、世界の鉄道事業にも貢献しています。

鉄道車両用防振ゴム

円筒積層ゴム



ゴムブッシュ



軸ハリゴムブッシュ



鉄道台車の車輪部の振動吸収、慣性力による衝撃吸収、操舵部位のヒンジ部に使用され走行安定性や台車、車体保護に貢献しています。

景観資材

景観に対するさまざまなニーズにお応えする製品を提供しています。特殊樹脂化粧型枠「モールドスター」は、土木用途では自然との調和に配慮したデザインを、建築用途では表情豊かな壁面デザインを提供しています。

景観資材の施工事例

モールドスター



NSモールド & NSコート



コンクリートにタイル調の意匠を施す製品。従来のマンションやビルなどにおいて、タイル貼りによる剥離・脱落のリスクを軽減し、メンテナンスコストを削減します。

[住環境]

人々の安全な生活を守る、住友理工の地震対策用制震システム「TRCダンパー」。木造住宅から高層ビルまでさまざまな建築物に設置され、地震時の揺れを吸収して建物の揺れを大幅に低減します。また、窓用遮熱・断熱フィルム「リフレッシュ」も工場やオフィスだけでなく、鉄道車両や自動車でも採用され、快適な居室空間を提供しています。

housing environment



産業用機能部品事業本部
化工品事業部
技術統括部 振動制御技術部
第2技術課

川畑 陽輔

地震大国・日本で生まれた制震という 新たな技術を住友理工が牽引。

地震大国といわれる日本では、今後も大地震が起こる可能性が高く、建築物の地震対策が不可欠です。地震対策には、「耐震」「免震」「制震」の3つの方法があります。耐震は、建物全体を固くし、地震の衝撃に耐える工法。免震は、免震装置によって建物と地盤を切り離し、地震の揺れを建物に伝えない仕組みです。そして、制震は壁の中にダンパーを設置し、建物の振動を吸収して揺れを軽減するもので、住友理工が、いま最も力を入れているのがこの技術です。免震工法はコストが高く、地盤によっては適さない場合がありますが、制震の場合は地盤を選ばず、低コストで建物の安全を確保することができます。そのため、大きな注目を集めています。

住環境

住友理工は、高分子材料技術を住環境向けデバイスにも展開しています。「TRCダンパー」は、地震時の建物の揺れ・変形を軽減する制震・制振装置。高度な配合技術によって開発された特殊粘弾性ゴムが、地震エネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換し、建物をダメージから守ります。



1 ビル用制振システム「TRCダンパー」(オフィスビル・マンション向け)



住友理工が独自開発した「特殊粘弾性体」を使用した制振デバイス。剛性が低く、高い減衰性能を併せ持つため、オフィスビルやマンションなど中高層ビルの微振動(風)から地震動まで幅広い領域で制振効果を発揮します。

2 窓用遮熱・断熱フィルム「リフレッシュ」



夏の日射熱流入の抑制(遮熱)や冬の室内熱流出の抑制(断熱)が可能な窓用フィルム。UVカット性とガラス破損時の安全性を兼ね備え、通年で窓際の快適性向上や空調電力削減に貢献します。建物向けの用途だけでなく、鉄道車両や自動車への採用も進んでいます。

3 交通振動対策用制振装置「マルチタイプTMD」



交通振動や生活振動での建物の不快な横揺れに対し、TMDのマスが建物の揺れと反対方向に動き、揺れを打ち消し合うことで建物の揺れを低減します。

4 重量床衝撃音対策用ダンパー



子どもの飛び跳ねなどの生活音を、バネとマスと高減衰ゴムの複合制振効果で低減。集合住宅や2世帯住宅の上下階の床衝撃音を解消します。

5 木造住宅用制震システム「TRCダンパー」



地震時に木造住宅の損傷を低減する制震システム。地震エネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換させて揺れを低減させます。新築はもちろん、既存住宅のリフォームにも適しており、余震などの繰り返しの地震にも高い効果が期待できます。

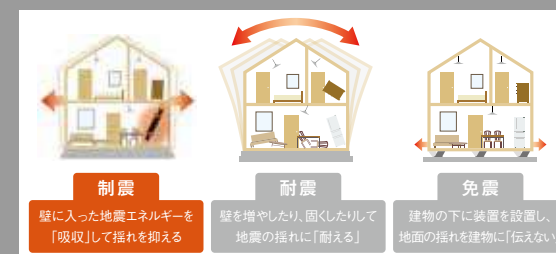
6 化粧型枠「モールドスター」



建築・土木分野で豊富な施工実績のある化粧型枠です。コンクリート打設と同時にデザイン性の高い意匠・色彩を付加することにより、建物の外装を個性的かつ美しく彩ります。



自動車事業で培った世界最高水準の防振技術を 制震技術として建築へ応用。



住友理工は、そのコアコンピタンスである高分子材料技術と総合評価技術を生かし、自動車分野の防振技術では世界最高水準の実力を誇っています。そこで培った技術とノウハウを、地震対策用へと応用することで、ここ数年大きな伸びを見せています。繰り返しの揺れに強く、コスト面のメリットが大きいという制震ならではの長所、そして世界トップレベルの防振技術の応用から生まれたダンパーは、住環境におけるソリューションデバイスとして大きな可能性を秘めています。制震という技術で、今後もより広範な市場に向けた住友理工の制震デバイスの活用が期待されています。

[エレクトロニクス]

住友理工が世界で初めて開発・製品化を実現した帯電ロールをはじめ、クリーニングブレードや現像ロールなど、プリンターや複写機の心臓部には、画質を大きく左右する住友理工の重要機能部品が詰まっています。革新的な配合設計技術や異種材料の複合化技術、高精度加工技術によって、IT化の進む現代社会に不可欠な、高度な製品ニーズにお応えしています。

一方で、人口の爆発的な増加などで資源やエネルギーの獲得競争が激化し、地球環境の悪化が懸念される中、人と地球にやさしい社会づくりを目指した技術革新も重要な課題です。住友理工では、製版工程で有機溶剤を使わず、環境負荷低減に貢献する画期的な感光性水現像フレキシ版の製品化を実現。製版システムを含めた環境ソリューション事業への参入も果たしており、今後さらにこの分野での事業創出を推進していきます。



ロール・ブレード

electronics

事務機器用品

現代生活に不可欠なプリンターや複写機などの事務機器。
住友理工は革新的な配合設計技術、異種材料の複合化技術、
高精度加工技術を駆使し、世界で初めて製品化した帯電ロールをはじめ、
多くの機能部品を開発し、事務機器の性能向上に大きく貢献しています。

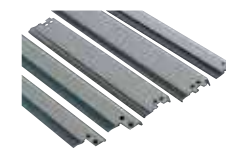
感光体周辺部品

① 帯電ロール



感光ドラムの表面を均一に帯電させるゴムロールで、画質を大きく左右する高機能部品です。当社が世界で初めて開発・製品化しました。

② クリーニングブレード



感光ドラム上に残ったトナーを除去する部品です。金属とウレタンという異種材料を成型と同時に接着し、ミクロン単位の高精度で加工する技術は、当社独自の開発によるものです。

③ 現像ロール



ミクロンオーダーのトナー粒子を均一に帯電させ、感光ドラムへ供給するための部品です。高度な電気特性制御・高寸法精度・高耐久性を可能としました。

④ スポンジロール



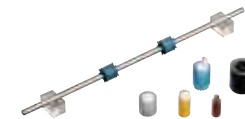
トナーを均一に供給および除去する（掻取る）スポンジロールです。スポンジでありながら、高寸法精度かつ、高耐久化のための表面意匠も可能な加工技術で差別化しています。

⑤ 中間転写ベルト

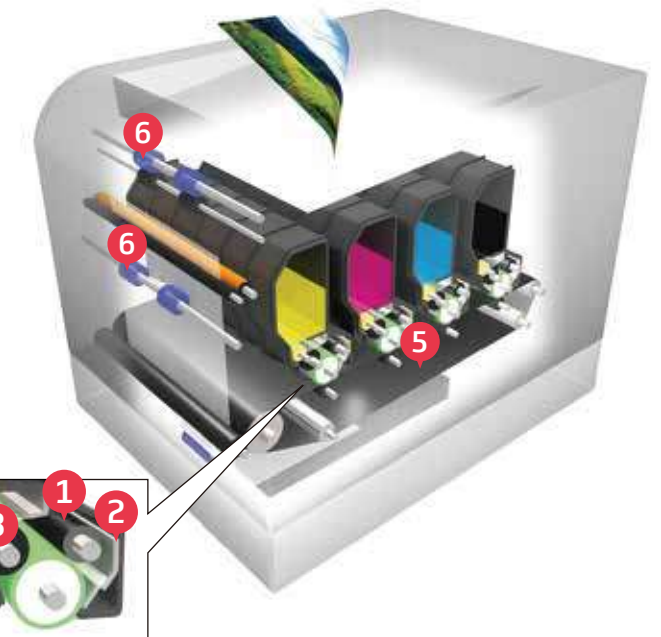


4色のトナーを重ね合わせてフルカラー画像を形成する重要機能部品です。シームレスで、製品全面にわたる均一な電気特性と高耐久性を実現しました。

⑥ 給紙・搬送ロール



用紙一枚ずつを正確に運ぶロールです。独自のウレタン配合技術と表面形成技術により、あらゆる用紙の紙粉付着を防止し、安定した用紙搬送を実現しています。



フレキシ印刷



感光性水現像フレキシ版「AquaGreen」

フレキシ印刷とは、柔らかいゴム凸版による印刷方式です。当社のアクアグリーン（AquaGreen）は、水で現像できるフレキシ版（他社の多くは溶剤使用）で、地球環境、作業環境にやさしく、高精細、高生産性の付加価値をもった環境対応印刷版です。



完全な環境印刷の実現を目指して。

住友理工の技術が、フレキシ印刷を進化させた。

インキの種類も被刷体も選ばないフレキシ印刷は、環境面で非常に注目を集めています。従来は樹脂製の版を用いており、版を溶剤で現像する必要がありましたが、住友理工は独自の配合技術を生かし、フレキシ印刷対応のゴム版を開発。高画質でありながら、水性インキが使えるのはもちろん、版を水で現像することができる環境配慮型製品です。成長市場であるフレキシブルパッケージの次世代印刷のスタンダードとして大きな可能性を秘めています。



[ヘルスケア]

柔らかいゴムを活用したセンサー技術「スマートラバー（SR）センサ」を核に、医療・介護・見守りなどの現場で活用可能なソリューションを展開しています。住友理工は、人々の暮らしと健康に役立つ新たな技術・製品の開発を進めています。

小牧市でフレイルチェックによる市民の健康づくりを支援

2021年1月に小牧市（愛知県）と締結した「健康づくり等の推進に係る包括連携協定」に基づき、同年10月から当社のフレイルチェックシステム※を活用した「フレイルチェック測定会」を小牧市と協働で実施しています。これまでに同市に暮らす60歳以上の市民約620名（2026年5月現在）に対して、フレイル予防の普及啓発および気づき支援を行いました。

さらに、2025年1月にオープンした小牧市の健康増進施設「ヘルスラボ・こまき」には、当社のフレイルチェックシステムとSRセンサ技術を活用したクロステストが導入され、常設されています。これにより、地域での測定会を待つことなく、誰もがいつでもフレイルチェックを受ける環境が整いました。こうした会社の枠を超えた連携を通じて、健康で持続可能なまちづくりの実現に貢献しています。

※握力や歩行速度、疲労感などを出力し、自分が今どのような状態にあるかを把握する助けになるように設計されたシステム。その結果を参照し、医療スタッフが適切な介入や支援を行い、健康状態の改善と健康寿命の延伸を目指しています。

Topics-1



ライフイノベーション

長年にわたり培ったセンサー技術を核に、体圧分布を可視化する「SRソフトビジョン」や、噛む力（咬合力）を数値化する「Oramo2」など、独自性の高い製品を展開しています。臨床現場をはじめ身近な環境でも取り扱い可能な機器の開発は、“これまででありそうでなかった”を具現化し、安心・快適な暮らしを支援しています。

体圧分布センサー「SRソフトビジョン」シリーズ



スマートラバー（SR）センサの技術を使った、体圧分布やバランスが表示できる体圧分布測定機器です。クッション、マットレスの選定、リハビリ支援など医療や介護のさまざまなシーンで活用されています。

※パソコンは製品に含まれません。

モニラフ・ウェルネス



薄くて柔らかいスマートラバー（SR）センサが、眠りを妨げずに体動情報を取得します。専用のアプリでは、体動情報をもとに「呼吸成分」「心拍成分」「在床判定」を表示。自宅やホテルでのバイタルデータの取得と応用、介護施設での健康状態の確認による見守り、睡眠に関する研究・開発など、他の機器と組み合わせることで、さまざまな用途に利用できます。



スリープテック分野へも活用されています

SRセンサとは



ゴムシートに流した電流を読み取ることで圧力変化を測定、「見える化」します。また高分子材料技術を活用した圧力センサは柔らかな素材で扱いやすく、計測結果がその場でリアルタイムに確認できる利点もあります。このような特徴を持つSRセンサは多種多様な製品に応用されており、咬合力測定、地域のフレイルチェック測定会、睡眠に関する研究など、さまざまに形を変えて社会に貢献しています。

Topics-2

医療機器

歯科用咬合力計「Oramo2」



小児の咬合力測定：Iタイプ（個歯）

SRセンサ技術を応用した、噛む力（咬合力）を数値化する計測機器です。センサーを噛むだけで測定でき、計測中および計測直後に結果をすばやく確認できます。小児から開口が困難な方、高齢者まで幅広く対応可能で、Uタイプ（全歯）・Iタイプ（個歯）のセンサー交換により、目的に応じた計測が可能です。主に口腔機能低下症※診断における咬合力検査で用いられ、歯科大学などの研究機関から歯科診療所まで幅広く使用されています。

※加齢だけでなく、疾患や障害などさまざまな要因によって、口腔内の機能が複合的に低下している疾患。参照：日本歯科医学会の口腔機能低下症に関する基本的な考え方（<https://www.jads.jp/assets/pdf/basic/r08/document-260511.pdf>）



「噛む力を可視化するセンサ」が 中部地方発明表彰 「発明奨励賞」を受賞

公益社団法人発明協会が主催する令和7年度中部地方発明表彰において、「噛む力を可視化するセンサ（発明名称：咬合力センサシート）」が「発明奨励賞」を受賞しました。本技術はOramo2などの製品に応用されており、今後もセンサー技術の開発を通じて、幅広い世代の方々が質の高い生活を送れる未来を目指し、安全・快適な暮らしと健康長寿社会の実現に貢献します。

ESGへの取り組み



ESGデータ集

企業価値・公益価値の向上を目指して

住友理工グループは、2029Vに掲げる企業グループ像、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍を目標に、ESG※を意識した経営を推進しています。これらESGの取り組みを通じて、企業価値と公益価値の向上を目指します。

※E：Environment（環境）、S：Social（社会）、G：Governance（ガバナンス）



E 環境 Environment

住友理工は、環境ビジョン2050のもと「脱炭素社会」「資源循環型社会」「自然共生社会」を目指し、課題解決に向けた取り組みを推進しています。2024年3月には、日本政策投資銀行（DBJ）が提供する「DBJ 環境格付」融資において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価され、最高ランクの格付けを取得しました。このほかにも、さまざまな環境への活動が社外から評価されており、地球環境に配慮したグリーンで快適な社会実現に向けて、新たな取り組みを進めています。



あいち生物多様性
優良認証企業

愛知県より環境保全、
自然回復活動が評価される
(2025年)

サンゴを用いた当社素材の評価。他社と協業し、海洋のネイチャーポジティブ（自然再興）を推進



当社ボランティア活動の一環
「住友理工の森」づくり

詳しくはこちら▶



S 社会 Social

すべての従業員とその家族が心身ともに健康であることを「会社の健全で持続的な成長を支える経営基盤」と考え、健康経営に取り組んでいます。2026年には2年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されるなど、多岐にわたり評価されました。さらに、休憩スペースの刷新や業務効率化に配慮した新工場稼働、敷地内全面禁煙化など、働く環境の改善を進めました。また、小牧本社のある愛知県小牧市では、「ヘルスラボ・こまき」での健康支援を通じて、人・地域社会への貢献も続けています。



2022年から5年連続で
「福利厚生推進法人」に認証

小牧製作所、松阪事業所など、
多様性に配慮した快適な働く
環境を実現



小牧製作所内にある新工場は、
周辺地域への音・振動などに
配慮、ソーラーパネル導入で再生
可能エネルギーを活用

詳しくはこちら▶



G ガバナンス Governance



● コーポレートガバナンス

住友理工のコーポレートガバナンスは、すべてのステークホルダーへの責任を認識し、「萬事入精」、「信用確実」、「不趨浮利」を旨とする住友事業精神を基盤とした効率的で健全な経営により、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

● コンプライアンス

住友理工グループでは取締役が委員長を務めるコンプライアンス委員会がグループのコンプライアンス活動を統括し、当社にとって重要な諸施策を組織的・計画的に推進しています。また、相談窓口を社内と社外（弁護士事務所）の双方に設け、従業員ほかステークホルダーからの相談・申告を広く受け付ける体制としています。

● リスクマネジメント

社内各部門・グループ会社からの情報収集体制を整備し、グループ全体でのリスク把握に努めています。また、その分析・評価に基づき、対応すべきリスクを選別し最適対応方法を選択することで、事業運営への影響の極小化に取り組んでいます。これらにより、資本コストの低減および企業価値の向上を目指しています。



詳しくはこちら▶



ラグビーとの二刀流、
アスリート社員 大内田 夏月



国内女子ラグビーチーム「PEARLS（パールズ）」に所属するアスリート社員、大内田 夏月。グラウンドでは日本代表としても試合に出場、社内では社会貢献業務に従事し、社内外で活躍しています。こうした多様な働き方、個性を尊重した職場環境づくりが、新たな価値創造につながると考え、共に挑戦・成長を続けます。



女子ラグビー選手

社内勤務



当社初、スポンサー契約締結
陸上パラアスリート 大島 健吾選手を支援



世界の舞台で活躍する選手を支えることで、スポーツを通じた社会貢献にも取り組んでいます。2026年には、当社初となるスポンサー契約を陸上パラアスリート・大島 健吾選手（名古屋学院大学AC所属）と締結し、その挑戦を支援しています。

大島選手は、東京2020パラリンピックで銅メダルを獲得。続くパリ2024パラリンピックではアジア記録を更新し、2026年5月には、その記録をさらに塗り替え、アジア新記録を樹立するなど、着実に実績を重ねています。今後も、アスリート支援を通じて多様な価値観を尊重し、誰もが活躍できる社会の実現に貢献していきます。



大島 健吾選手
短距離100m・200m



Sustainability

持続可能な社会の実現を目指して

住友理工グループでは、サステナブルな社会の実現に向けた世界的な潮流に対して、「地球環境保全」「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」「人材育成」「エンゲージメント」「コンプライアンス」の5つのテーマを掲げ、さまざまな取り組みを推進しています。

その取り組みは、製品を通じた貢献から事業活動を通じた貢献まで、多岐にわたり幅広く対応しています。

サステナブルな社会の実現に向けて、
取り組みをさらに加速していきます。



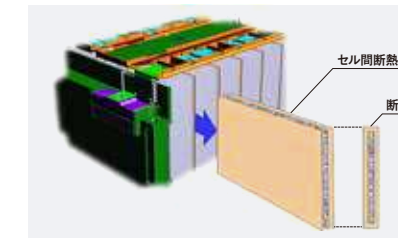
【製品】を通じたサステナビリティ



1. ファインシュライト

高分子材料技術を応用しシリカエアロゲルを塗料化した薄膜高断熱材。製造現場や設備では、断熱によるエネルギー消費の抑制が確認されるなど、さまざまな分野で事業活動に伴う二酸化炭素(CO₂)排出量削減に寄与しています。

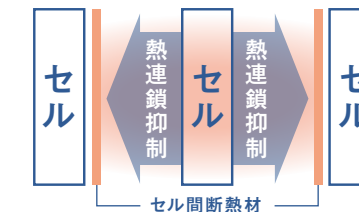
断熱性能に優れた
シリカエアロゲルの塗料化に成功



2. セル間断熱材

ファインシュライトの技術を発展したBEV向け断熱材として、リチウムイオン電池の安全性に寄与します。また2023年加入の「電池サプライチェーン協議会」を通じ、本製品や関連部材の研究開発を積極的に進め、脱炭素社会実現への貢献に取り組んでいます。

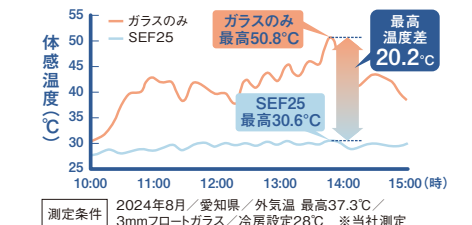
セル異常発熱時の熱連鎖対策部材として
車輻火災リスクを抑制



3. リフレッシュイン (※SEF25: 遮熱・断熱タイプ)

独自設計のナノ機能膜により、夏は外からの熱を遮り、冬は室内の暖気を外へ逃がしません。年間を通じて冷暖房にかかる電力の低減効果が見込まれ、CO₂排出量削減にもつながるなど、地球環境負荷の低減に貢献します。

体感温度の上昇を大幅抑制
窓際で最大20.2℃差の高い遮熱性能



【事業活動】を通じたサステナビリティ



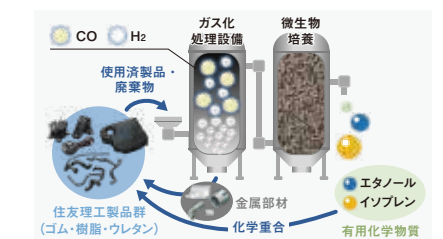
1. 未来を担う若者の育成に貢献 サステナ モノづくりテックアワード by 住友理工

2015年から10年続いた「SDGs学生小論文アワード」を進化させ、2025年より新たなアワードとして始動しました。学生ならではの柔軟な発想をモノづくりに生かし、社会課題の解決を目指します。次世代を担う若者との共創を通じて、人材育成と持続可能な社会の実現に向けて貢献し続けていきます。



2. カーボンニュートラルな社会に向けて 東北地域の再エネ電気を活用 住理工山形、電力100%再エネ化を実現

2025年、住理工山形はTAGA※と電力需給契約を締結し、再生可能エネルギー電力の調達を開始しました。使用する電力(年間約392万kWh)をすべて再エネ化することで、年間約1,500トンのCO₂削減を見込みます。住友理工グループは、今後も持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めます。



3. サーキュラーエコノミーの実現を目指し ゴム・樹脂・ウレタン廃棄物を 新技術で再利用

限りある資源を有効活用する循環型社会を目指し、2022年から他社と共同で新技術の研究開発を開始しました。使用済製品や製造過程で発生する廃棄物、これらを微生物の力で新たな資源として生まれ変わらせて再利用し、循環させる取り組みで、サステナブルな社会の実現に寄与していきます。

Quality

住友理工の品質

「安全・快適・環境」をキーワードに、世界中のお客様に「喜び」を提供し続けたい。住友理工は、あたらしい価値を創造し続けるグローバル・システムサプライヤーとして、モノづくりの本質を大切にしながら、世界トップクラスの高品質な製品を提供し続けます。

Research and Development

研究開発

安全性、快適性、そして環境性など、製品の性能に対するニーズはますます高度化しています。住友理工は、そのコアコンピタンスの一つである、配合・合成・改質の各技術をベースとする「高分子材料技術」を生かし、社会のニーズに応える新たな機能部材を創出する研究開発を行っています。

Design and Analysis

設計・解析

部品単体だけでなく、最終製品に必要とされる性能や信頼性を満たす製品設計技術。そして、ゴムや樹脂をはじめとする製品の高精度な性能予測や最適設計を実現するCAE解析技術。住友理工では設計段階において、こうした技術を駆使することにより、お客様のニーズを先読みしながら、より信頼性の高い、高品質な製品を開発・提案しています。

Prototypes and Evaluation

試作・評価

システムサプライヤーとして、多角的な視点から徹底的に材料・製品・システムを分析・検証するのが、住友理工のコアコンピタンス「総合評価技術」です。たとえば、自動車用部品では、実際の自動車に部品を組み付けて車両評価を行うことで、部品単体では予測できない必要特性を抽出するなど、最終ユーザーであるお客様の高度なニーズを的確につかみ、それらに確実に応えながら、信頼性の高い製品を提供する評価技術を確立しています。



Manufacturing

生産

住友理工は、総合高機能部品メーカーとして、お客様のさまざまなニーズにタイムリーにお応えするため、国内に3ヶ所（小牧製作所、埼玉・松阪の各事業所）を構えているほか、住友理工グループの製造子会社が東北～九州の各地で事業を展開しています。自動車用部品をはじめ、新幹線などの鉄道車両用部品、重機や工業プラント、都市土木、道路・橋梁などのインフラ関連製品、プリンター・複写機をはじめとする事務機器向け精密部品、住宅関連製品や介護・ヘルスケア関連製品に至る幅広い領域で、これまでに蓄積した生産技術力と自動化の推進により、生産性の高い製造プロセスを構築し、高品質な製品を生み出し続けています。自動車用品部門においては、海外自動車メーカーへの製品供給の需要が高まっており、米州や欧州、アジアなど全世界で現地生産ができる体制を構築しているほか、自動車を除く一般産業用品部門でも、海外生産体制の整備を進めています。

Sales

販売

世界中のお客様に満足していただける製品を提供するため、自動車用品部門ではグローバル5極（日本、米州、欧州・アフリカ、中国・韓国、アジア）での製品開発・供給体制を構築し、販売を行っています。インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの一般産業用品部門においてもこれらの拠点網を活用し、世界水準の製品をお客様へ提供しています。



History

住友理工の革新的な歩み

配合・合成・改質の各技術をベースに、高機能な材料を創出し、高付加価値の製品を生み出す「高分子材料技術」。

さらに、製品に必要な性能や信頼性を自社で評価・検証する「総合評価技術」。

住友理工の研究開発を支えるこれらの強みを武器に、

既存事業の拡充はもちろん、新市場・新領域への事業展開を積極的に進めています。

人と社会、地球環境に役立つ価値の創造を目指して、挑戦は続きます。

第1の創業

1929 三重県四日市市に昭和興業株式会社として創業



1930 蒲田調帯株式会社に社名を変更

1937 住友グループの傘下に、東海護謨工業株式会社に社名を変更

1943 松阪工場（現・松阪事業所）操業開始

1949 名古屋証券取引所（名証）に株式を上場

1960 小牧工場（現・小牧製作所）操業開始

1961 東海ゴム工業株式会社に社名を変更

1964 本社を四日市市から愛知県小牧市に移転

1976 現場での改善活動を通じた人材育成の取り組み、フォアマン研修（F研）開始

1986 テクニカルセンター完成（愛知県小牧市）



第2の創業

初の海外進出

1988 初の海外拠点として米国にDTR Industries, Inc.（現・SumiRiko Ohio, Inc.）を設立



1990 富士裾野工場（現・富士裾野製作所）操業開始

1994 東京証券取引所（東証）市場二部に株式を上場

1995 アジア圏に初の拠点設立（タイ・中国）

1996 東証・名証一部に指定替え

1999 欧州圏に初の拠点設立（ポーランド）

2002 海外初の開発拠点として米国にTRI Technical Center USA, Inc.（現・SumiRiko Technical Center America, Inc.）を設立

2008 技術研究所「テクノピア」完成（愛知県小牧市）



第3の創業

M&Aによるグローバル体制の強化

2013 イタリアの自動車用ホースメーカー・Dytech-Dynamic Fluid Technologies S.p.A.（現・SumiRiko Italy S.p.A.）、ドイツの自動車用防振ゴムメーカー・Anvis Group GmbH（現・SumiRiko AVS Holding Germany GmbH）をそれぞれ買収・連結子会社化

研修センター「鶴沼三学館」完成（岐阜県各務原市）

2014 住友理工株式会社に社名を変更

2015 ゴム製シール部材「セル用ガスケット」の生産機能を担う住理工FCシール株式会社を設立（愛知県小牧市）

東北初の自動車用防振ゴム生産拠点として住理工山形株式会社を設立（山形県米沢市）

2016 グローバル本社を開設（名古屋市中村区）自動車新商品開発センター（現・新商品開発センター）を設立（愛知県小牧市）

2018 産業用ホース子会社2社を統合して住友理工ホーステックス株式会社を発足（京都府綾部市）

2019 ゴムシール材製造会社・株式会社住理工ファインエラストマーを吸収合併し、埼玉事業所を開設（埼玉県上尾市）

2020 国立研究開発法人 産業技術総合研究所と共同で「住友理工・産総研 先進高分子デバイス連携研究室」を設立（茨城県つくば市）

2021 ベトナムに自動車用ホース製造会社・SumiRiko Vietnam Co., Ltd.を設立

2025 小牧製作所内に「Sumitomoriko Green Transformation Building/SG棟」を稼働



2026 東証「プライム市場」・名証「プレミアム市場」より上場廃止
住友電気工業株式会社の完全子会社化

製品開発の歴史



2029年
創立 **100** 周年

経営ビジョン「2029年 住友理工グループVision(2029V)」

【ありたい姿】

理工のチカラを起点に

社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける リーディングカンパニー

2029年に向けた3つの方向性

■ 未来を開拓する人・仲間づくり

■ 柔軟かつ強固な組織づくり

■ 持続可能な社会に向けた価値づくり

海外

欧州・アフリカ

ロシア	SumiRiko Automotive Hose RUS AO
ロシア	OOO SumiRiko AVS RUS
ポーランド	SumiRiko Poland Sp. z o.o.
ポーランド	SumiRiko Automotive Hose Poland Sp. z o.o.
ドイツ	Sumitomo Riko Europe GmbH
ドイツ	SumiRiko AVS Holding Germany GmbH
ドイツ	SumiRiko AVS Germany GmbH
オランダ	SumiRiko AVS Netherlands B.V.
チェコ	SumiRiko AVS Czech s.r.o.
フランス	SumiRiko Rubber Compounding France S.A.S.
フランス	SumiRiko SD France S.A.S.
ルーマニア	SumiRiko AVS Romania SRL
イタリア	SumiRiko Italy S.p.A.
スペイン	SumiRiko AVS Spain S.A.U.
トルコ	SumiRiko Hose Otomotiv Sanayi Ticaret ve Pazarlama Limited Şirketi
チュニジア	SumiRiko Automotive Hose Tunisia Sarl
チュニジア	SumiRiko Metal Tube Tunisia Sarl
南アフリカ	SumiRiko South Africa (Pty) Ltd.

Europe
and Africa

欧州・アフリカ

19

China and
South Korea

中国・韓国

22

Asian
countries

アジア諸国

14

※2026年5月時点(住友理工含む)

中国・韓国

中国	住友理工企業管理(中国)有限公司
中国	住理工汽車部件(大連)有限公司
中国	住理工汽車部件(天津)有限公司
中国	住理工模具(天津)有限公司
中国	東海化成(天津)汽車部品有限公司
中国	環宇住理工汽車部件(天津)有限公司
中国	住理工津榮模具(天津)有限公司
中国	住理工胶管(合肥)有限公司
中国	住理工橡塑(無錫)有限公司
中国	住理工汽車部件(蘇州)有限公司
中国	住理工科技(蘇州)有限公司
中国	住理工天普汽車部件(上海)有限公司
中国	住理工化工產品(上海)有限公司
中国	住理工国際物流(上海)有限公司
中国	住理工汽車部件(嘉興)有限公司
中国	住友理工汽車技術研究(中国)有限公司
中国	住理工汽車部件(広州)有限公司
中国	住理工汽車部件(東莞)有限公司
中国	住理工(香港)有限公司
中国	大興住理工橡塑材料(塩城)有限公司
中国	常州住電東海今創特殊橡膠有限公司
韓国	株式会社大興R&T

アジア諸国

インド	SumiRiko Imperial Rubber India Pvt. Ltd.
インド	SumiRiko Imperial Hydraulics India Pvt. Ltd.
インド	SumiRiko Auto-Parts India Pvt. Ltd.
ベトナム	SumiRiko Vietnam Co., Ltd.
ベトナム	SumiRiko Hose Vietnam Co., Ltd.
タイ	Sumitomo Riko (Asia Pacific) Ltd.
タイ	Inoac Tokai (Thailand) Co., Ltd.
タイ	SumiRiko Eastern Rubber (Thailand) Ltd.

タイ	SumiRiko Rubber Compounding (Thailand) Ltd.
タイ	SumiRiko Chemical and Plastic Products (Thailand) Ltd.
タイ	SumiRiko Fine Elastomer (Thailand) Ltd.
インドネシア	PT. Tokai Rubber Indonesia
インドネシア	PT. Tokai Rubber Auto Hose Indonesia
インドネシア	PT. Fukoku Tokai Rubber Indonesia

国内

日本

住理工山形株式会社
東海化成工業株式会社
住友理工ホーステックス株式会社
株式会社住理工メテックス
株式会社住理工エンジニアリング
住理工FCシール株式会社
株式会社住理工クリエイツ
株式会社住理工ロジテック

住理工情報システム株式会社
株式会社住理工ジョイフル
株式会社住理工大分AE
株式会社住理工九州
株式会社東海化成九州
株式会社タイヨーラベックス
佐橋工業株式会社

Japan
日本

16

米州

米国	Sumitomo Riko America, Inc.
米国	SumiRiko Technical Center America, Inc.
米国	SumiRiko Ohio, Inc.
米国	SumiRiko Tennessee, Inc.
メキシコ	S-Riko Automotive Hose de Chihuahua, S.A.P.I. de C.V.
メキシコ	S-Riko Automotive Hose Sales Chihuahua, S. de R.L. de C.V.
メキシコ	S-Riko de Querétaro, S.A.P.I. de C.V.
ブラジル	SumiRiko do Brasil Indústria de Borrachas Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose Holding Brasil Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose do Brasil Ltda.
ブラジル	S Riko Automotive Hose Tecalon Brasil S.A.

The Americas

米州

11

本社

グローバル本社	〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋 TEL／052-571-0200 FAX／052-571-0225
小牧本社	〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地 TEL／0568-77-2121 FAX／0568-77-5341

生産拠点

小牧製作所	〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地 TEL／0568-77-2121 FAX／0568-77-5341
埼玉事業所	〒362-0044 埼玉県上尾市大谷本郷255番地 TEL／048-781-5121 FAX／048-781-5127
松阪事業所	〒515-0005 三重県松阪市鎌田町1001番地 TEL／0598-52-2121 FAX／0598-52-2815

支社・支店・営業拠点

東京支社	〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目18番16号 住友浜松町ビル8階 TEL／03-5777-9721 FAX／03-5777-9722	浜松営業所 (自動車営業)	〒432-8041 静岡県浜松市中央区菅原町11番43号 第2堀留ビル2階 TEL／053-451-1871 FAX／053-451-1873
大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島2丁目2番7号 中之島セントラルタワー5階 TEL／06-6223-8156 FAX／06-6223-8160	東京 自動車営業部	〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野七丁目1番6号 相模大野第一生命ビルディング2階 TEL／042-701-2790 FAX／042-748-3660
名古屋営業所 (一般産業用品営業)	〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目17番13号 いちご丸の内ビル6階 TEL／052-951-5895 FAX／052-951-5897	宇都宮 自動車営業部	〒321-0953 宇都宮市東宿郷1丁目9番15号 フローラビル10階 TEL／028-633-3877 FAX／028-633-3380
広島支店 (自動車営業)	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号 銀泉広島ビル5階 TEL／082-248-1991 FAX／082-249-6781		

Global network

グローバルネットワーク

自動車メーカーをはじめとするお客様の開発環境や生産体制の変化に伴い、

全世界同一品質・安定供給へのニーズがますます高まっています。

住友理工グループは、この市場ニーズにお応えするため、グローバル展開を積極的に推進。

世界5極で製品開発・供給体制を整備し、グローバル・システムサプライヤーの地位を確立、

現在、世界20ヶ国以上で事業を展開しています。